

横浜型地域貢献企業プロモーション動画『株式会社太陽住建』

【株式会社太陽住建 代表取締役 河原 勇輝さん】

・弊社は建設業を営んでいます。太陽光発電の設置、住宅リフォーム等を行っている会社です。

「活動のきっかけ」

・元々私個人も会社のメンバーも、日々市民活動に励んでいるメンバーが多く、私もその1人です。
・その中で障害者の方々と触れ合うことがあり、ある時、障害者の方々の給料を知り、僕としては結構びっくりした。
・私自身も子供が多いので、自分の子供がこの給料ですっと働いていくというのは、一生不安に思ってしまうのではないかと思ったんです。
・僕たちは太陽光発電という工事が本業ですので、工事を通して障害者の方々と関わりつつ、雇用拡大・賃金向上を目指せないかと思ったのがきっかけです。

「自社にもたらした事」

・従業員が地域の方々と関わらせていただいたり、弊社のスペースに来てくださって、地域の課題がすごく見えてくるというところ。
・これは一つの僕らの強みであると思います。
・あとはやはり、障害者の方々と関りが結構強いので、家族の方々に集っていただく会も行っています。
・そういう中でプレミアム表彰をいただけたということは、しっかり皆様にもご報告させていただきました。
・決して弊社1社だけでいただけたものではなく、障害者の方々の家族であったり、事業を一緒に組んでいるパートナーの方々と連携でプレミアムということにさせていただいた。
・皆で活動してきたものが御評価いただけたというのは、皆の励みになったのかなと思っています。
・今後もこの取組を通して、地域に貢献していきたいと思っています。

「地域とのかかわり」

・私たちは日頃、今日のこちらの拠点” Yワイひろば” また” 井土ヶ谷アーバンデザインセンター” という所で地域の方々の活動拠点というものを運営してきました。
・また僕個人としても” green bird 横浜チーム” という清掃活動のチームを運営してきましたり、様々な方々とパートナーシップを組ませていただいております。
・これからは、どんどん地域というものに目が向けられてくると思います。
・地域の課題をビジネスで解決するために、様々な素晴らしい活動されてる人たちと手を組んで、素晴らしい活動が、点ではなく面で地域をサポートしていけるように、そういったパートナーシップを組んでこれからも進んでいきたいと思っています。

「地域の方に向けて」

・コロナ禍の中でも、行った方がいいイベントは積極的に行っています。
・オンライン講座や、また防災は非常に大事な観点だと思っていますので、例えば土のう袋の講座など、防災の要素を踏まえたイベント、こういうものは三密をできる限り防いだ形で積極的に行っていきます。
・是非御参加可能な方は、直接イベントにお越しいただきたいと思っています。
・この空き家の拠点は、これから何か始めたい方。例えば、これまでイベントに参加はしてきたけど、自分ではやったことないという方が初めてここでコーヒーの会をやったり。
・そういうゼロイチを応援できるスペースにしていきたいなと思っています。
・これから何か始めたい方々から是非お声掛けいただければ、こういう場所でイベントを

行っていただくこともできます。

・コロナ禍でもできることを地域の方々と一緒に探しながら、一緒に進んでいきたいと思っています。